

## 議会閉会中の委員会活動

### 産業廃棄物特別委員会

#### ■アイザックオール(富山市)

「管理型産業廃棄物最終処分場」の実際の施設運営や安全管理等について調査するため、富山市の(株)アイザックオールが運営する産廃処分場を現地視察しました。

雨水等が埋め立てた産業廃棄物に触れて染み出てくる浸出水を場内施設で処理した後、その全量を自社の処理施設へローリーで運搬し、基準値以下まで再処理した上で下水道に放流するという3次処理を行っているのが特徴です。



#### ■兵庫県赤穂市

赤穂市議会は産廃処分場建設反対議員連盟として、地域住民の活動を主体としながら、それをサポートする形でさまざまな活動を展開しています。

市ホームページに貼りつけた施設概要の動画をはじめ、のぼり旗を立ててのチラシ配布、新聞折込み、講師や弁護士を招いての勉強会など、あらゆる機会やツールを駆使して反対の機運醸成に取り組まれていました。

#### ■兵庫県上郡町

条例に基づく住民投票を執行し、全国的にも注目された自治体で、過疎に悩む一部地区の住民から地域活性化への期待感もあって、町全体が一丸となつての反対運動とはならなかったものの、住民投票の結果8割近い町民の反対意思が示されています。

行政主導とはいえ起点は住民運動であり、議会もそこを外すことなく行動を起こす必要があると考えます。

#### ■視察を終えて

荘川町の皆さまや流域の自治体とも連携を図りながら調査を進めていますが、風土や文化の異なる日本一広い市域を擁する高山市において、全市的な情報共有を図るためにあらゆる機会や媒体を駆使し取り組む必要があると受け止めています。

また、客観性を意識する特別委員会とは違い、強い意思表示で地域住民に寄り添う自由度の高い活動、議会としてのあり方についても検討する予定です。

#### ■参考人招致

福岡大学名誉教授の樋口壮太郎先生を参考人としてオンラインで招致し、産廃処分における環境や防災に関する技術的な教示をいただきました。

お話しの中では、最近の産廃処分場建設の動向や、遮水シートの安全性、産廃搬入時のチェック、処分場廃止後までを見据えた安全確保、盛土規制法など多岐にわたる現状と課題について説明をいただき、各委員からの質疑にも的確に答えていただきました。

